

2 板ガラスの光学的性能・熱的性能

●データ算出のための諸条件

- 1 光学的性能値は垂直入射(入射角0°)の値です。
- 2 可視光特性はJIS R 3106-1998に基づきCIEで定める標準の光D₆₅を光源として明順応比視感度より求めた値です。(可視光の波長範囲:380~780nm)
- 3 日射特性はJIS R 3106-1998に基づき日射の標準スペクトル分布を用いて求めた値です。(日射の波長範囲:300~2,100nm)
- 4 反射率OUTは室外側、反射率INは室内側の値です。
- 5 熱線反射ガラス「レフライト」の反射膜面は上段を室外側、下段を室内側とします。(熱吸タイプは反射膜面を室外側とします)高性能熱線反射ガラス「レフシャイン」は反射膜面を室内側とした値です。
- 6 複層ガラスと合わせガラスは表の構成品種左側に示したガラスを室外側とします。
- 7 熱線反射複層ガラス「ペアマルチRL」はレフライトを室外側ガラスとし反射膜面を室外側。高性能熱線反射複層ガラス「ペアマルチRS」はレフシャインを室外側ガラスとして反射膜面を中空層側とした値です。(右図参照)
- 8 「ペアマルチLow-E(高断熱タイプ)」、「ペアマルチスーパー」はLow-Eガラスを室内側に、「ペアマルチLow-E(遮熱タイプ)」、「ペアマルチレイボーグ」はLow-Eガラスを室外側とし、いずれも特殊金属膜面を中空層側とします。(右図参照)
- 9 熱線反射合わせガラスはレフライトを室外側ガラスとして反射膜面を室外側とした値です。
- 10 紫外線透過率はISO 9050に基づいて求めた値です。
- 11 熱貫流率はJIS R 3107-1998に基づいて求めた値です。(冬の値です)
熱貫流率とは室外側の周囲空気温度と室内側の周囲空気温度との差1当たり、そのガラスの中央部を貫流する熱流束をいい、値が小さいほど断熱性能が優れていることとなります。
我国では従来慣習としてK値と呼んでいますがISOに従ってU値とも呼ばれることがあります。
表には従来単位とSI単位を併記しています。
・U値 W/(m²·K)
・K値 Kcal/m²h
- 12 日射熱取得率はJIS R 3106-1998に基づいて求めた値です。日射熱取得率とは窓ガラス面に垂直に入射する日射について、構成ガラスに吸収されて室内へ伝達される熱流と日射透過率を加えたも

のをいい、値が小さいほど日射熱の遮蔽性が優れていることとなります。
13 遮蔽係数は3ミリの厚さのフロート板ガラス(透明)の日射熱取得率を1とした場合の日射熱取得率の相対値です。

